

特集

令和5年  
筑紫野市

# はたちのついでい



令和4年4月から成人年齢が18歳へ引き下げられ、最初の「成人の日」を迎える今年。筑紫野市は、従来通り20歳を対象とし、名称を「成人式」から「はたちのついでい」へと改めて、1月8日(日)に文化会館で式典を行いました。

平成14年4月2日から平成15年4月1日の間に生まれた、20歳となる人は1160人。式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2部に分けての開催となりましたが、1部・2部ともに多くの人が参加しました。

今年のはたちのついでいのテーマは、「飛躍」。はたちの節目のタイミングで今まで培ってきたものをバネにし自分を信じて、自分らしく大きく、高く飛ぼう」という思いが込められています。

成人年齢の引き下げや、いまだに続く新型コロナウイルス感染症の猛威。さまざまな困惑や困難にさらされながらも、自分を信じて胸を張り、未来へと飛び立つ姿がそこにはありました。



# はたちのつどい 実行委員会代表 あいさつ

成年年齢が18歳に引き下げられ、この年の成人は3学年が対象となりました。多くの若者が戸惑いや不安を感じましたが、より不安なのは私たちの後輩です。成人の中で最も年齢の高い私たちが後輩たちに成人とはどのようなものを姿で示していく必要があります。それぞれが自分の足でしっかりと立ち、自分の活躍できる場でできることを精一杯やっていき、後輩たちに頑張る姿を見せて、道を示したいと思います。

ていき、乗り越えていきたいと思えます。今までとこれからの出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れずに人生を全力で楽しんでいくことを改めて宣言し、代表あいさつとさせていただきます。

実行委員会代表  
石田 匠 さん

ですが、私たちもまだまだ未熟です。わからないことが多く、壁にぶつかり、時には投げ出してしまふことがあるかもしれません。そんなときは今まで歩んできた道を振り返りたいと思います。そこにはいつも寄り添ってくれる家族、一緒になって頑張ってくれる友達など多くの仲間がいます。そんな仲間たちの力を借りながら一つ、また一つと壁に挑戦し

# はた ちの 挑戦

20歳を迎える皆さんに、  
今どんなことに  
挑戦しているか  
聞いてみました。

大食いのでどれだけラーメンを食べることができるか



篠原 こはるさん(筑山中)

将棋で竜王を目指しています



梅田 真志さん(筑紫野中)

たくさんの人に笑顔と勇気を与えられる俳優に



高橋 力也さん(筑紫野南中)

とにかく人生を楽しむ



田中 愛理さん(天拝中)

目指すはラグビー日本代表



本田 啓さん(二日市中)

ストリートダンスの大会で入賞



森 万希子さん(筑紫野南中)

警察官として人々の安全を守れるように



梅本 伸之助さん(筑山中)

韓国語を勉強して身に付ける



東野 知哉さん(天拝中)

誰よりも優しい幼稚園教諭になる



楠元 優乃香さん(筑紫野中)

自分の道を見据えて大きく高く飛ぼう  
としている人も、自分の挑戦する世界を  
見定めている人も、これから先どのよう  
に挑戦・成長し世界や社会で活躍してい  
くのか本当に楽しみます。  
20歳の皆さんへ、祝福と期待を込めて。  
おめでとうございます！

